

市政報告



武蔵野市
市議会議員

2023年3月 発行

みやしろ かずとし

宮代 一利

レポート Vol.7

〒 180-0003

武蔵野市吉祥寺南町 3-27-20 TEL 080-2343-1082

HP <https://wakumusa.com> ✉ wmusashino@gmail.com

市政へのご意見、ご相談をお待ちしています。



HP



宮代一利



@kaz389946021



@kazutoshimiyashiro



11月27日、市民と議会の意見交換会が開催されました。40人もの市民の皆さんが足を運んでくださいました。また、オンラインで参加いただいた方もいらっしゃいました。会場の8割程度の席が埋まっているのを見て、うれしく感じたのと同時に、身の引き締まる思いが湧いてきました。

私は、市議会で、未来に向けた施策と投資として、「子どもの権利条例の目的と意義」「コミセンの人員確保とハード面でのメンテナンス」「テンミリオンハウスを複合化施設として活用」、教育について、「デジタルシチズンシップ」「部活動の活性化」「学校施設開放の正常化」、そのほかでは「ブルーキャップの今後の展開」「入札の適正化」などについて質疑、提案しました。

今回は、その中から抜粋して要旨をご報告いたします。

未来に向けた施策と投資

子どもの権利条例の目的と意義

宮代 子どもの権利条例を定める意味と本条例制定後の具体的な取組について伺います。

市長 子どもの権利を未来にわたって守っていく武蔵野としてのルールが必要と考えます。

宮代 これまで市民意見交換会にたくさんの市民が参加をし、活発に意見交換を続けてきました。私自身、これからも積極的に参加していきたいと思っています。

コミセンの人員確保とハード面でのメンテナンス

宮代 コミセンが抱える担い手の固定化や人員不足という課題に対し、今後市が取り組もうとしている支援について伺います。

市長 コミュニティ協議会の努力でコミセンの認知度は50%を超えている。Wi-Fi整備やバリアフリー化など基盤整備をサポートする。

宮代 バリアフリー化の話で、あるコミセンは3階に会議室があって、高齢の方が会議室に行くのは物すごく大変で、エレベーターを切望されているので、ぜひ御検討いただきたいと思っています。

テンミリオンハウスを複合化施設として活用

宮代 テンミリオンハウスに子どもも立ち寄ることができるようにして高齢者支援の一助となるという世代融合的な形の運営について、考え方を伺います。

市長 あおばや花時計の乳幼児親子のひろばなどの事例もあり、課題を整理して検討する。

今日もしぎかい

子どもの権利条例、前文の子どもたちのことばは、中高生世代ワークショップ「Teens ムサカツ」で提出された意見によるものです。

また、市立学校の児童生徒に配付されている学習者用コンピュータアンケートやパブリックコメントを行いました。

市民意見交換会、各種説明会、パブリックコメントを行い、市民の方々の「武蔵野市子どもの権利条例」についての「ご意見やご感想を伺いたいです。」

3月の議会で提出された「武蔵野市子どもの権利条例」は、こちらのQRコードから、ご意見ご感想をお待ちしています。

